

資料 1 : W e b 用 自 己 評 估 構 造 評 估 改 訂 過 程

構造評価用紙 1.6 指標に基づく評価内容、調査方法、評価項目、評価尺度

評価日：平成 年 月 日 () 評価者：

評価施設：

1. 患者への接近

評価指標 1.1：個別情報を示す道具がある(4点満点)

評価内容	評価の対象	評価方法	質問項目	評価尺度	得点
1.1.1.現在の個々の患者に必要な情報が明記されている	書類 看護記録 カルテなど	看護記録、カルテなどを直接見て判断する *記録物に印刷された項目がなくなっても、ルチーンで記入欄を決めていればあると評価する。	患者の保清を行うのに必要な情報を書く記録項目がある 1) 安静度 () 項目がある () ない 2) 保清方法 () 項目がある () ない → 患者の保清を行うのに必要な情報を書く記録項目についてお聞きします。 a 安静度と保清方法の項目が両方ある b 安静度か保清方法のどちらか項目がある c どちらもない	a (2点) b (1点) c (0点) → a (2点) b (1点) c (0点)	
1.1.2.ケアに必要な個別情報が見ることができる	書類 看護記録 カルテなど	看護記録、カルテなどを直接見て評価する *各記録用紙が別々に置かれているかは問わない→削除	現在の個々の患者に必要な情報が明記されたものがアクセスしやすい状態にある 1) 体温表 () ステーション内 () ステーション外 2) 看護記録 () ステーション内 () ステーション外 3) 指示表 () ステーション内 () ステーション外 4) ケアプラン用紙 () ステーション内 () ステーション外 → 現在の個々の患者に必要な情報(体温票・看護記録・指示票・ケアプラン用紙)が明記されたものがアクセスしやすい状態であるかどうかについてお聞きします。 a 全ての記録物がステーションの中にあり、一元化されている。 b 全ての記録物がステーションの中にあるが一元化されていない。 c 一つ以上の記録物が欠けている。	a (2点)全ての記録物がステーションの中にある b (1点)1つが欠けて、他はステーションの中にある c (0点)2つ以上欠けて、他はステーションの中にある → a (2点) b (1点) c (0点)	

改訂過程

指標1.2：患者や家族の習慣、希望、時、空間、安全性を尊重する姿勢を持っている（6点満点）

評価内容	評価の対象	評価方法	質問項目	評価尺度	得点
1.2.1.患者、家族を尊重することが明示されている	<p>種類 患者尊重を明示した物（新入利用の資料等）</p>	<p>患者尊重を明示したものを直接見て評価する</p>	<p>患者を尊重する姿勢をもっている</p> <p>1) 病棟内にスタッフに対して患者尊重を明示したものがあ</p> <p>→</p> <p>1) 病棟内にスタッフに対して患者尊重を明示したものがあ</p> <p>a 明示したものがあ</p> <p>b 明示したものがあ</p> <p>2) 患者尊重を明示したものをスタッフへの意識付けに活用している</p> <p>→</p> <p>2) 患者尊重を明示したものをスタッフへの意識付けに活用している</p> <p>a 活用している</p> <p>b 活用していない</p> <p>患者尊重を患者・家族に明示したものがあ</p> <p>→</p> <p>患者尊重を患者・家族に明示したものがあ</p> <p>a 明示したものがあ</p> <p>b 明示したものがあ</p>	<p>a (2点)明示したものがあ</p> <p>b (0点)明示したものがあ</p> <p>→</p> <p>a (2点)</p> <p>b (0点)</p> <p>→</p> <p>a (2点)活用している</p> <p>b (0点)活用していない</p> <p>→</p> <p>a (2点)</p> <p>b (0点)</p> <p>→</p> <p>a (2点)明示したものがあ</p> <p>b (0点)明示したものがあ</p> <p>→</p> <p>a (2点)</p> <p>b (0点)</p>	
			<p>患者尊重を患者・家族に明示したものがあ</p> <p>→</p> <p>患者尊重を患者・家族に明示したものがあ</p> <p>a 明示したものがあ</p> <p>b 明示したものがあ</p>		
1.2.2.患者、家族を尊重することを患者、家族に知らせるシステムがある	<p>種類（患者向け入院案内等）</p>	<p>患者尊重を明示したものを直接見て評価する</p>			

改訂過程

2. 内なる力を強める

評価指標2.1：疾患の予後、痛みの状況回復過程に関する資料がある（10点満点）

評価内容	評価の対象	評価方法	質問項目	評価尺度	得点
2.1.1病気の回復過程、退院後の生活に 関して患者に説明 するためのパンフ レットや資料があ る	書類 パンフレット 資料	1) から6) の項目を すべて子エックし、右 の計算式で得点を出 す。 *該当する患者がい て、パンフレットが病 棟になくても、他の部 署のパンフレットが患 者に手渡されていれ ば「ある」とする	1)手術を受ける患者 a() 該当する患者がいて、パンフレットや資料がある b() 該当する患者がいて、パンフレットや資料がない c() 該当なし 2) 食事指導が必要な患者 a() 該当する患者がいて、パンフレットや資料がある b() 該当する患者がいて、パンフレットや資料がない c() 該当なし	*計算式は 得点= $\frac{1) \sim 6) \text{の合計点}}{\text{該当する患者がいる項目数}} \times 10$ (小数点以下は、四捨五入する) 1) ~6) a(1点) b(0点) c 該当なし	

	<p>3) 生活指導が必要な患者 a () 該当する患者がいて、パンフレットや資料がある b () 該当する患者がいて、パンフレットや資料がない c () 該当なし</p> <p>4) 化学療法を受ける患者 a () 該当する患者がいて、パンフレットや資料がある b () 該当する患者がいて、パンフレットや資料がない c () 該当なし</p> <p>5) 放射線療法を受ける患者 a () 該当する患者がいて、パンフレットや資料がある b () 該当する患者がいて、パンフレットや資料がない c () 該当なし</p> <p>6) 医療的な自己管理が必要な患者 a () 該当する患者がいて、パンフレットや資料がある b () 該当する患者がいて、パンフレットや資料がない c () 該当なし</p> <p>→</p> <p>以下の6つ項目について、該当する患者がいて、説明のためのパンフレットや資料がない患者項目数を以下の中から選んでください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><6つの項目> 1) 手術を受ける患者 2) 食事指導が必要な患者 3) 生活指導が必要な患者 4) 化学療法を受ける患者 5) 放射線療法をうける患者 6) 医療的な自己管理が必要な患者</p> </div> <p>a : 0項目 b : 1項目 c : 2項目 d : 3項目 e : 4項目 f : 5項目 g : 6項目</p>	<p>→ a (6点) b (5点) c (4点) d (3点) e (2点) f (1点) g (0点)</p>
--	--	---

改訂過程

3. 家族の絆を強める

評価指標3.1：重要他者がそばにいることができる設備・備品がある（16点満点）

評価内容	評価の対象	評価方法	質問項目	評価尺度	得点
3.1.1. 家族/重要他者が気持ちよく過ごせる空間がある	設備 家族が話せる場所	家族が話せる場所とは、個室をさす。個室がない場合はテイルームなどをみて判断する。	<p>家族や面会者と個室以外の場所で話したいという希望があったときに提供する場所がある</p> <p>1) 家族が話せる場所は、プライバシーが十分に守られている (1)他者が突然入ってこない工夫がされている (使用中の札や鍵が取り付けられている)</p> <p>→</p> <p>家族や面会者と個室以外の場所で話したいという希望があったときに提供する場所があるかどうかについてお聞きします。</p> <p>1) 家族が話せる場所は、プライバシーが十分に守られている (1)他者が突然入ってこない工夫がされている (使用中の札や鍵が取り付けられている)</p> <p>a 十分 b 不十分 c そのような場所はない</p> <p>(2)声ももれない (外に立って試してみる)</p> <p>→</p> <p>(2)声ももれない (外に立って試してみる)</p> <p>a 普通の声ももれない b 普通の声ももれる c そのような場所はない</p>	<p>a (2点)十分 b (1点)不十分 c (0点)そのような場所はない</p> <p>→</p> <p>a (2点) b (1点) c (0点)</p> <p>a (2点)普通の声ももれない b (1点)普通の声ももれる c (0点)そのような場所はない</p> <p>→</p> <p>a (2点) b (1点) c (0点)</p>	

		<p>2) 家族が話せる場所は、安楽さが保たれている (廊下の中で外の声を聞いている)</p> <p>(1) 廊下の話し声がしない (部屋の中で外の声を聞いている)</p> <p>→</p> <p>2) 家族が話せる場所は、安楽さが保たれている (廊下の中で外の声を聞いている)</p> <p>(2) 廊下の話し声がしない (部屋の中で外の声を聞いている)</p> <p>a 話し声が気にならない b 話し声が気になる c そのような場所はない</p> <p>(3) 十分な換気がされている (窓、換気扇、又はエアコンの設置)</p> <p>→</p> <p>(4) 十分な換気がされている (窓、換気扇、又はエアコンの設置)</p> <p>a 十分 b 不十分 c そのような場所はない</p> <p>3) 家族が話せる場所は、利便性がある (希望時にいつでも使用できる)</p> <p>a () 使用を待ってもらったことはほとんどない b () 使用を待ってもらったことがある c () そのような場所はない</p> <p>→</p> <p>3) 家族が話せる場所は、利便性がある (希望時にいつでも使用できる)</p> <p>a 使用を待ってもらったことはほとんどない b 使用を待ってもらったことがある c そのような場所はない</p>	<p>a (2点)話し声が気にならない b (1点)話し声が気になる c (0点)そのような場所はない</p> <p>→</p> <p>a (2点) b (1点) c (0点)</p>	
		<p>a (2点)十分 b (1点)不十分 c (0点)そのような場所はない</p> <p>→</p> <p>a (2点) b (1点) c (0点)</p>	<p>a (2点)十分 b (1点)不十分 c (0点)そのような場所はない</p> <p>→</p> <p>a (2点) b (1点) c (0点)</p>	

<p>3.1.2 ベッドサイドに家族がいることのできる十分な空間がある</p>	<p>設備 病室大部屋</p>	<p>その病棟で最も一般的な多床室をみて判断する。</p>	<p>1) 病室の中・プライバシーが守られている → 1) 病室の中・プライバシーが守られている a カーテンがある b カーテンがない 2) ベッドサイド・安楽さが保たれている a ()患者用と家族が自由に使える椅子がある b ()患者用の椅子がある c ()患者用の椅子がない (a:患者用以外に病室の中に椅子があるかで判断する。他患との共有でもよい) → 2) ベッドサイド・安楽さが保たれている a 患者用と家族が自由に使える椅子がある b 患者用の椅子がある c 患者用の椅子がない (a:患者用以外に病室の中に椅子があるかで判断する。他患との共有でもよい) 3) ベッド間隔が十分に確保されている 大部屋患者1人当たり病室面積 () m² (管理者に確認する) (実測する場合には、トイレ・洗面所を含む) → 3) ベッド間隔が十分に確保されている 大部屋患者1人当たりの病室面積を下記の中から選択してください。(管理者に確認する) (実測する場合には、トイレ・洗面所を含む) a 8m²以上 b 6.4~8m²未満 c 4.3~6.4m²未満</p>	<p>a (2点)カーテンがある b (0点)カーテンがない → a (2点) b (0点) a (2点) b (1点) c (0点) a (2点)6.5m²以上 b (1点)5.5~6.5m²未満 c (0点)4.3~5.5m²未満 → a (2点)8m²以上 b (1点)6.4~8m²未満 c (0点)4.3~6.4m²未</p>	
---	---------------------	-------------------------------	--	--	--

改訂過程

3. 家族の絆を強める

指標3.2：規則に融通性がある(2点満点)

評価内容	評価の対象	評価方法	質問項目	評価尺度	得点
3.2.1. 面会時間が自由、もしくは融通性がある	看護師	あなた自身の判断で判定する。	<p>面会時間は、対応した看護師の判断で融通することができることになっている</p> <p>a () 対応した看護師の判断で融通できる b () 師長か主治医に判断を委ねる c () 融通することはない</p> <p>→</p> <p>面会時間は、対応した看護師の判断で融通することができることになっている</p> <p>a 対応した看護師の判断で融通できる b 師長か主治医に判断を委ねる c 融通することはない</p>	<p>a (2点) b (1点) c (0点)</p>	

改訂過程

4. 直接ケア

評価指標 4.1: 病棟で起こりうる特徴的な苦痛あるいは問題について基準・手順がある (8点満点)

評価内容	評価の対象	評価方法	質問項目	評価尺度	得点
4.1.1 病棟で起こりうる特徴的な苦痛あるいは問題について、患者の一般的な経過、具体的な観察項目、ケア項目(指導内容を含む)が明確されている	<p>種類 看護基準</p>	<p>その病棟で特徴的な問題についての看護基準(例えば骨髄穿刺、心臓カテ検査後の看護等)を見て、チェックする。</p>	<p>病棟で起こりうる特徴的な苦痛あるいは問題に関する看護基準がある</p> <p>1) 看護基準の内容に以下の項目が含まれている (1)患者の一般的な経過 () がある () ない (2)具体的な観察項目 () がある () ない (3)具体的なケア項目(指導内容) () がある () ない</p> <p>→</p> <p>1) 病棟で起こりうる特徴的な苦痛あるいは問題についての看護基準の中に以下の3つの項目について、下記のa~cを選択してください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><3つの項目></p> <p>(1)患者の一般的な経過</p> <p>(2)具体的な観察項目</p> <p>(3)具体的なケア項目(指導内容)</p> </div> <p>a (1)(2)(3)項目が全て明確されている。 b (2)と(3)の項目が明確されている。 c (2)か(3)がない</p> <p>2) 看護基準の見直しが行われている</p>	<p>a (2点) (1)(2)(3)全てある b (1点) (2)と(3)がある c (0点) 看護基準がない / (2)か(3)がない / (1)だけがある</p> <p>→</p> <p>a (2点) b (1点) c (0点)</p>	
4.1.2 看護婦が行う処置についての手順がある	<p>種類 看護手順</p>		<p>1) 4.1.1.で選択した看護基準の中で必要な処置について手順がある</p> <p>→</p> <p>1) 4.1.1.で選択した看護基準の中で必要な処置についての手順がありますか?</p> <p>a ある b ない</p>	<p>a (2点) ある b (0点) ない</p> <p>→</p> <p>a (2点) b (1点) c (0点)</p>	

改訂過程

			2) その手順の見直しが行われている			
			→ 2) その手順の見直しはどれほどの間隔で行われていますか? a 1年に1回見直されている b 1～3年に1回見直されている c 3年以上見直されていない			a (2点) 1年に1回見直されている b (1点) 1～3年に1回見直されている c (0点) 3年以上見直されていない
						→ a (2点) b (1点) c (0点)

評価指標 4.2：看護の質から見た設備・備品がある (12点満点)

評価内容	評価の対象	評価方法	質問項目	評価尺度	得点
4.2.1 石鹸清拭を行うための設備・備品がある	設備 清拭の備品	*物品については常識的な範囲で代用する。 例えばペースンをバケツで代用するなど好ましくない。	1) ペースン () がある () ない 2) ピッチャー () がある () ない 3) タオル () がある () ない 4) バスタオル () がある () ない 5) 石鹸類 () がある () ない → 1) 以下の石鹸清拭を行うための下記の5つの備品について該当する答えを選んでください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"><5つの備品> 1) ペースン 2) タオル 3) 石鹸類 4) ピッチャー 5) バスタオル</div>	a (2点) 1)～5) の全ての物品がそろっている b (1点) 1) 3) 5) はそろっている c (0点) 1) 3) 5) のうち1つでもそろっていない → a (2点) b (1点) c (0点)	
4.2.2 シャワー浴あるいは入浴のできる設備・備品がある	設備 入浴設備		1) シャワー浴あるいは普通入浴のできる設備・備品がある → 2) シャワー浴あるいは普通入浴のできる設備・備品がある a ある b ない	a (2点) ある b (0点) ない → a (2点) b (0点)	

改訂過程

<p>4.2.3 保清をするための設備・備品の使用に利便性がある</p>		<p>2) 麻痺患者等の臥床患者のための入浴設備として特殊浴槽がある →</p> <p>3) 麻痺患者等の臥床患者のための入浴設備として特殊浴槽がある a 病棟内か病室内にある (移動式を含む) b 病棟内にも病室内にもない</p>	<p>a (2点) 病棟内か病室内にある (移動式を含む) b (0点) 病棟内にも病室内にもない →</p> <p>a (2点) b (0点)</p>
		<p>1) シャワー・浴室が自由に使用することができる (1) 1週間で使用できる日の制限が少ない →</p> <p>1) シャワー・浴室が自由に使用することができる (1) 1週間で使用できる日の制限が少ない a 6-7日使用できる b 4-5日使用できる c 3日以下しか使用できない (2) 使用可能な時間制限が少ない →</p> <p>(2) 使用可能な時間制限が少ない a 12時間以上開放されている b 8-12時間開放されている c 8時間以下しか開放されていない</p> <p>2) 清拭車の蒸しタオルは保清の際、患者が必要時に十分使用することができる →</p> <p>2) 清拭車の蒸しタオルは保清の際、患者が必要時に十分使用することができる a 患者が必要時に必要な枚数使用できる b 患者が必要時に使用できない</p>	<p>a (2点) 6-7日使用できる b (1点) 4-5日使用できる c (0点) 3日以下しか使用できない →</p> <p>a (2点) b (1点) c (0点)</p> <p>a (2点) 12時間以上開放されている b (1点) 8-12時間開放されている c (0点) 8時間以下しか開放されていない →</p> <p>a (2点) b (1点) c (0点)</p> <p>a (2点) 患者が必要時に必要な枚数使用できる b (0点) 患者が必要時に使用できない →</p> <p>a (2点) b (0点)</p>

改訂過程

4. 直接ケア

評価指標 4.3：看護業務の中に日常生活援助に責任を負える体制がある（6点満点）

評価内容	評価の対象	評価方法	質問項目	評価尺度	得点
4.3.1看護師は患者の日常生活に責任を持っている	看護 看護記録 看護計画表		<p>担当の患者の看護計画の中に「清潔・食事・移動・排泄」に関する計画が含まれている</p> <p>清潔の援助（ある・ない）</p> <p>食事の援助（ある・ない）</p> <p>移動の援助（ある・ない）</p> <p>排泄の援助（ある・ない）</p> <p>→1）担当の患者の看護計画の中に「清潔・食事・移動・排泄」に関する計画が含まれていますか？</p>	<p>a（4点）全て含まれている</p> <p>b（3点）3つ含まれている</p> <p>c（2点）2つ含まれている</p> <p>d（1点）1つ含まれている</p> <p>e（0点）全く含まれていない</p>	
			清潔の援助について		
			a ある	→ a（1点）	
			b ない	b（0点）	
			食事の援助について		
			a ある	→ a（1点）	
			b ない	b（0点）	
			移動の援助について		
			a ある	→ a（1点）	
			b ない	b（0点）	
			排泄の援助について		
			a ある	→ a（1点）	
			b ない	b（0点）	

改訂過程

	業務分担表	<p>*プライマリナーシングのところは、プライマリナーズの業務規定の中に「受け持ち患者の日常生活に責任を持つ」と明示されていれば(2点)とする。 *業務基準に明示されていたり、病棟内のボードに表示されているなど、明示の仕方は問わない。</p>	<p>床上患者に保清をする人が明示されている。その患者の保清を誰がすることになっているのか？ 1) アサインメントする人 <input type="checkbox"/> 明示されている <input type="checkbox"/> されていない 2) 保清する人 <input type="checkbox"/> 明示されている <input type="checkbox"/> されていない → 2) 床上患者に保清をする人が明示されていますか？ a アサインメントする人と保清する人の両方が明示されている b アサインメントする人と保清する人のどちらかが明示されている c アサインメントする人と保清する人のどちらも明示されていない</p>	<p>a (2点) 1) 2) 両方ともか明示されている b (1点) 1) 2) どちらかか明示されている c (0点) どちらも明示されていない → a (2点) b (1点) c (0点)</p>	
--	-------	--	--	---	--

改訂過程

<p>5.1.2 役割毎の業務規定がある</p>	<p>書類 業務規定</p>	<p>具体的・理解しやすい・整備して書かれているかをみて「明示している」とみなす。 * 責任内容とは責任をとるべき項目 * 業務内容とは仕事として行う内容 * 看護体制により ・プライマリナーシング* ・チームナーシング (1)に記入 (2)(3)に記入 ・混合型 (1)(2)(3)に記入 ・機能別 (4)に記入</p>	<p>1) 師長 責任内容 (明示されている・されていない) 業務内容 (明示されている・されていない)</p> <p>→ 1) 師長の業務規定について 責任内容 a 明示されている b 明示されていない 業務内容 a 明示されている b 明示されていない</p> <p>2) その他の役割 (1) プライマリナーズ 責任内容 (明示されている・されていない) 業務内容 (明示されている・されていない) (2) リーダー 責任内容 (明示されている・されていない) 業務内容 (明示されている・されていない) (3) メンバー (スタッフ) 責任内容 (明示されている・されていない) 業務内容 (明示されている・されていない) (4) 各機能 責任内容 (明示されている・されていない) 業務内容 (明示されている・されていない)</p> <p>→ 2) その他の役割の業務規定について それぞれ別の看護体制ごとに必要な役割について、お答えください。 a 全ての役割について責任内容と業務内容が明示されている b どれかの役割について責任内容か業務内容のどちらかがない。 c 全ての役割について責任内容も業務内容もない。</p>	<p>a (2点) 責任内容と業務内容が明示されている b (1点) 責任内容か業務内容のどちらかがない c (0点) 責任内容も業務内容もない</p> <p>→ 責任内容 a (1点) b (0点) 業務内容 a (1点) b (0点)</p> <p>a (2点) 責任内容と業務内容が明示されている b (1点) 責任内容か業務内容のどちらかがない c (0点) 責任内容も業務内容もない</p> <p>* 看護体制により ・プライマリナーシング*を採用しているところは(1)で評価する。 ・チームナーシング*を採用しているところは(2)と(3)をたして2で割る ・混合型を採用している場合は、(1)(2)(3)をたして3で割る。 ・機能別を採用しているところは(4)で評価する</p> <p>→ a (2点) b (1点) c (0点)</p>
--------------------------	--------------------	---	--	---

改訂過程

評価指標 5.2：看護師同士の協力体制がある（4点満点）

評価内容	評価の対象	評価方法	質問項目	評価尺度	得点
5.2.1 看護業務量に応じた人員配置の変更に 関する基準がある。	書類 人員配置の基準 を記載したもの	書類を見て評価を行う	<p>病棟の業務量が増えたときに勤務者数を変えるための決まり事がある</p> <p>→</p> <p>1) 病棟の業務量が増えたときに勤務者数を変えるための決まり事があるかどうかについてお聞きします。</p> <p>a 決まり事があり、明文化されている</p> <p>b 決まり事はあるが明文化されていない</p> <p>c 決まり事はない</p> <p>病棟のスタッフに欠員が生じたときに勤務者数を変えるための決まりごとがある</p> <p>→</p> <p>2) 病棟のスタッフに欠員が生じたときに勤務者数を変えるための決まりごとがある</p> <p>a 決まり事があり、明文化されている</p> <p>b 決まり事はあるが明文化されていない</p> <p>c 決まり事はない</p>	<p>a(2点) 決まり事があり、明文化されている</p> <p>b(1点) 決まり事はあるが明文化されていない</p> <p>c(0点) 決まり事はない</p> <p>→</p> <p>a(2点)</p> <p>b(1点)</p> <p>c(0点)</p> <hr/> <p>a(2点) 決まり事があり、明文化されている</p> <p>b(1点) 決まり事はあるが明文化されていない</p> <p>c(0点) 決まり事はない</p> <p>→</p> <p>a(2点)</p> <p>b(1点)</p> <p>c(0点)</p>	

5. 場をつくる

評価指標 5.3：看護期間で情報を共有したり、働きかけの方向性を考える場がある（4点満点）

評価内容	評価の対象	評価方法	質問項目	評価尺度	得点

改訂過程

<p>5.3.1 ケア計画の子エック機構がある</p>	<p>書類 カンファレンスの記録</p>	<p>看護師間で看護計画を見直すための場や機会がある 1) 看護計画を見直すための場や機会があつて、その記録がある (ある・ない) (ある・ない) →</p>	<p>a (2点) 場や機会があり、記録がある b (1点) 場や機会があるが、記録はない c (0点) 場や機会はない → a (2点) b (1点) c (0点)</p>
		<p>1) 看護師間で看護計画を見直すための場や機会があつて、その記録がありますか? a 場や機会があり、記録がある b 場や機会があるが、記録はない c 場や機会はない 2) 1) について次回の場や機会の開催日が決まっている a() 決まっている b() 決まっていない →</p>	<p>a(2点) 決まっている b(0点) 決まっていない → a(2点) b(0点)</p>
<p>5.4.1. 必要に応じて他職種が集まり、話し合うことができるシステムがある</p>	<p>書類 カンファレンスの記録</p>	<p>患者の看護ケアに関して、他職種が集まり話し合う場がある 1) 話し合う場があり、その記録がある 話し合う場 () がある () ない 記録 () がある () ない →</p>	<p>a (2点) 話し合う場があり、記録がある b (1点) 話し合う場はあるが、記録はない c (0点) 話し合う場はない → a (2点) b (1点) c (0点)</p>

評価指標 5.4: 他職種が集まって話し合いの場がある (3点満点)

評価内容	評価の対象	評価方法	質問項目	評価尺度	得点
<p>5.4.1. 必要に応じて他職種が集まり、話し合うことができるシステムがある</p>	<p>書類 カンファレンスの記録</p>	<p>カンファレンスの記録や現状をもとに判定する</p>	<p>患者の看護ケアに関して、他職種が集まり話し合う場がある 1) 話し合う場があり、その記録がある 話し合う場 () がある () ない 記録 () がある () ない →</p>	<p>a (2点) 話し合う場があり、記録がある b (1点) 話し合う場はあるが、記録はない c (0点) 話し合う場はない → a (2点) b (1点) c (0点)</p>	

改訂過程

			<p>2) 話し合う場を作り運営することに関して看護師は何らかの役割をとっている (メンバーの招集、連絡、記録、運営)</p> <p>→</p> <p>2) 話し合う場を作り運営することに関して看護師は何らかの役割をとっている (メンバーの招集、連絡、記録、運営)</p> <p>a 役割をとっている</p> <p>b 役割をとっていない</p>	<p>a (1点)役割をとっている</p> <p>b (0点)とっていない</p> <p>→</p> <p>a (1点)</p> <p>b (0点)</p>
--	--	--	---	--

評価指標 5.5: スタッフ間の関係性が良い (6点満点)

評価内容	評価の対象	評価方法	質問項目	評価尺度	得点
5.5.1. 雰囲気がいい	看護師	過程の評価の際に、看護師に聞き、後で過程調査から結果を聞く	<p>病棟では看護師同士や他の職種と気持ちよく仕事ができている</p> <p>1) 看護師同士</p> <p>→</p> <p>病棟では看護師同士や他の職種と気持ちよく仕事ができている すか?</p> <p>1) 看護師同士</p> <p>a 非常に気持ちよく仕事ができる</p> <p>b まあまあ気持ちよく仕事ができる</p> <p>c あまり気持ちよく仕事はできない</p> <p>d 気持ちよく仕事はできない</p> <p>2) 他職種</p> <p>→</p> <p>2) 他職種</p> <p>a 非常に気持ちよく仕事ができる</p> <p>b まあまあ気持ちよく仕事ができる</p> <p>c あまり気持ちよく仕事はできない</p> <p>d 気持ちよく仕事はできない</p>	<p>a (3点)非常に気持ちよく仕事ができる</p> <p>b (2点)まあまあ気持ちよく仕事ができる</p> <p>c (1点)あまり気持ちよく仕事はできない</p> <p>d (0点)気持ちよく仕事はできない</p> <p>→</p> <p>a (3点)</p> <p>b (2点)</p> <p>c (1点)</p> <p>d (0点)</p> <p>a (3点)非常に気持ちよく仕事ができる</p> <p>b (2点)まあまあ気持ちよく仕事ができる</p> <p>c (1点)あまり気持ちよく仕事はできない</p> <p>d (0点)気持ちよく仕事はできない</p> <p>→</p> <p>a (3点)</p> <p>b (2点)</p> <p>c (1点)</p> <p>d (0点)</p>	

改訂過程

6. インシデントを防ぐ

評価指標 6.1: インシデント対応システムがある (16点満点→23点満点)

評価内容	評価の対象	評価方法	質問項目	評価尺度	得点
6.1.1. 入浴およびトイレの設備の安全性が確保されている	設備 お風呂	<p>実際に浴室を見て判断する</p> <p>*片麻痺の患者が介助なしで入浴可能になった状態を想定して判断する。</p>	<p>入浴設備の安全性が確保されている</p> <p>1) 手すり</p> <p>→</p> <p>入浴設備の安全性が確保されていますか?</p> <p>1) 手すり</p> <p>a 浴槽に安全にたどりつくのに十分</p> <p>b 不十分</p> <p>c 手すりはない</p> <p>2) 滑り止め (浴室の床にすべらない工夫がされている)</p> <p>→</p> <p>2) 滑り止め (浴室の床にすべらない工夫がされている)</p> <p>a 浴槽に安全にたどりつくのに十分</p> <p>b 不十分</p> <p>c 滑り止めはない</p> <p>3) ナースコール</p> <p>(十分とは、ナースコールが脱衣所と浴室にそれぞれ設置されていることをいう)</p> <p>→</p> <p>3) ナースコール</p> <p>(十分とは、ナースコールが脱衣所と浴室にそれぞれ設置されていることをいう)</p> <p>a 患者が使いやすい場所にある</p> <p>b あるが不十分</p> <p>c ナースコールはない</p>	<p>a (2点) 浴槽に安全にたどりつくのに十分</p> <p>b (1点) 不十分</p> <p>c (0点) 手すりはない</p> <p>→</p> <p>a (2点)</p> <p>b (1点)</p> <p>c (0点)</p> <p>a (2点) 浴槽に安全にたどりつくのに十分</p> <p>b (1点) 不十分</p> <p>c (0点) 滑り止めはない</p> <p>→</p> <p>a (2点)</p> <p>b (1点)</p> <p>c (0点)</p> <p>a (2点) 患者が使いやすい場所にある</p> <p>b (1点) あるが不十分</p> <p>c (0点) ナースコールはない</p> <p>→</p> <p>a (2点)</p> <p>b (1点)</p> <p>c (0点)</p>	